

令和9年度 県立八海高等学校 2学年修学旅行  
仕様書

1 旅行期間 令和9年12月2日（木）～令和9年12月5日（日） 3泊4日

2 旅行先 沖縄県

3 予定人数 84人（生徒80人、引率教員4人）

4 予算

一人当たり140,000円以内（税込み、事前学習会の運営費を含む）

※ 入学者人数等の理由により増減の場合があるので、含めて予算内に収めること。

※ 旅行実施時までに消費税等増税の際も、予算内であること。

※ スポーツコースは、一人当たり160,000円以内とすること。

5 旅行企画について

（1）次の目的が達成できる旅行企画とすること。

- ① 太平洋戦争の唯一の地上戦地となった沖縄を訪れ、戦跡の見学や戦争体験者等の講話など通じて、戦争の悲惨さと平和の尊さについて学ぶ。
- ② 沖縄の自然、産業、文化、歴史について、その特色を理解する。
- ③ 民泊体験により、沖縄の生活を体験するとともに、住民との交流を深める。

（2）交通手段について

■ 往路・復路とも羽田空港を利用する。

（3）平和学習について

■ 戦争の悲惨さと平和の尊さについて工夫し、独創性のある内容が望ましい。

（4）民泊体験について

■ 旅程中の1泊を民泊体験として実施するものとする。

（5）添乗員、看護師について

■ 2人以上の添乗員が、全日程同行する。

■ 1人以上の看護師が、全日程同行する。

（6）その他

■ 上記仕様以外に、業者独自の付加価値・サービスを提案すること。

■ 事前学習会の企画内容も提案すること。

■ 安全対策及び緊急時の対応についても明示すること。（感染症等の対策含む）

■ スポーツコースは野外実習として、スクーバダイビング体験を入れること。

## 見積に含める費用（必須）

本仕様書に基づく見積額には、旅行実施に必要な一切の費用を含めること。

- 交通費（航空運賃、空港使用料、現地貸切バス等の車両費、道路・駐車料金等）
- 宿泊費（ホテル及び民泊に係る費用、予備室（保健室）確保に係る費用を含む）
- 食事代（行程中の朝食・昼食・夕食及び、これらの食事に付随する飲料。初日及び最終日の食事を含む）
- 研修・体験費（平和学習、見学施設入場料、ガイド料、民泊体験プログラム費等）
- 添乗員・看護師等の人件費及び旅費（添乗員、看護師の同行に要する費用）
- 荷物輸送費（必要に応じて）
- 旅行傷害保険料（生徒・引率者分）
- 事前学習会の運営費（会場設営、講師手配、資料作成等。学校側が会場を準備する場合はその限りでない）
- 消費税等の諸税

## 事前・事後対応および成果物（必須）

受託者は、旅行前後の準備・連絡・成果物作成を含めて業務を行うこと。最低限、次を含む。

- 行程表（詳細版を含む）及び緊急連絡網の作成・提供
- しおり（生徒用）案の作成及び学校との校正対応
- 保険内容（補償範囲・連絡先）の資料作成
- 事前学習会（少なくとも1回）について、企画・講師候補・進行案・必要物品等の提案

## 宿泊条件（ホテル泊・民泊）

ホテル泊については、学年行動の安全性・運用性を確保するため、次を基本とする。

- ホテル泊の夜は、原則として同一施設に集約する（分宿とする場合は、理由と代替措置を提案書に明記する）。
- 体調不良者等に対応するため、必要数の予備室（保健室）として使用可能な部屋を確保する。
- 食物アレルギー等の個別対応が可能であること。

## 安全対策・緊急時対応（必須）

地震・台風・感染症等のリスクを想定し、次を提案書に明示すること。

- 緊急時の連絡体制（学校・保護者・関係機関）と判断フロー
- 航空便欠航・遅延等が生じた場合の代替行程・宿泊確保・費用調整の考え方
- 事故・疾病・災害時の対応手順（救急搬送、医療機関連携、保険手続等）
- 感染症等への予防策・発生時対応

## 個人情報・守秘（必須）

- 受託者は、本業務で取り扱う個人情報を適切に管理し、目的外利用・第三者提供を行わないこと。再委託を行う場合は、学校の承認を得た上で同等の管理水準を確保すること。